

第2章 高齢者を取り巻く状況

1 宝塚市における概況と特性

(1) 人口・世帯の現状と推計

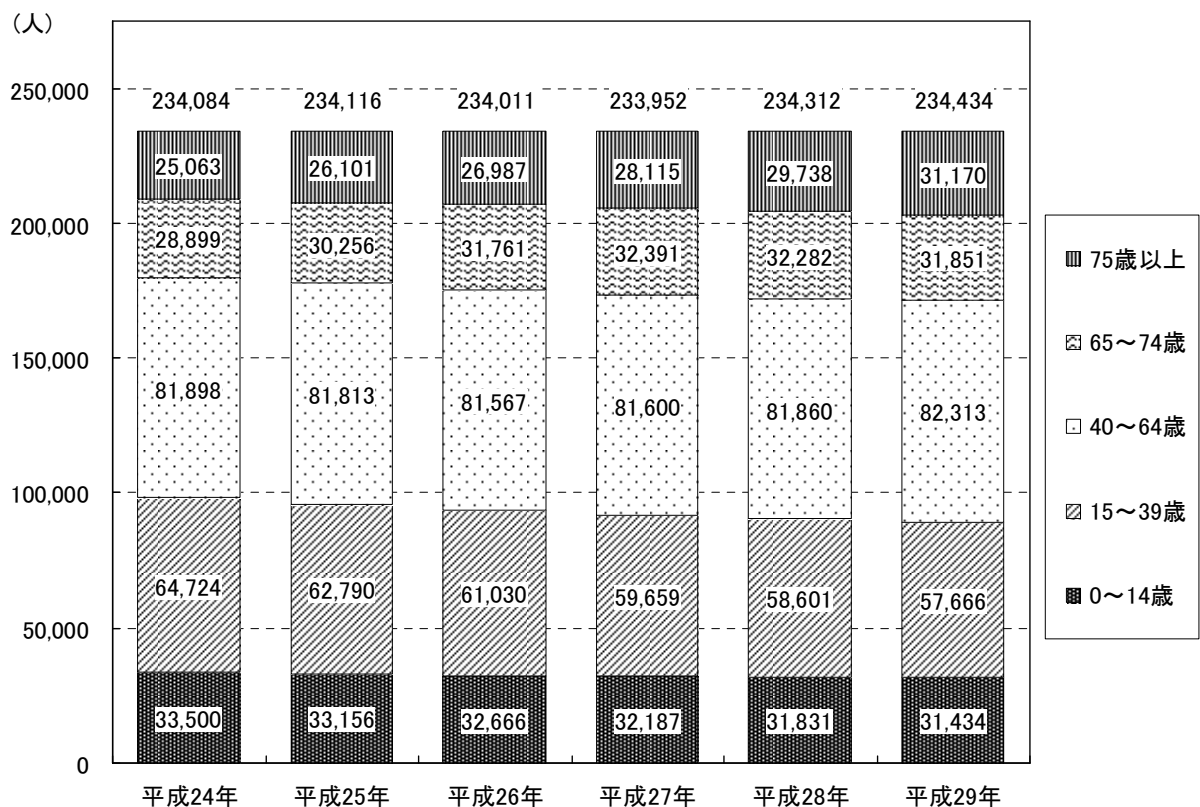
ア 人口の動向

本市人口の総数については、平成29年(2017年)9月末現在、234,434人(住民基本台帳人口)で、その動向は、横ばいで推移しています。

第1号被保険者である65歳以上人口は、平成24年(2012年)9月末の53,962人から、平成29年(2017年)9月末で63,021人となり、9,059人、16.8%増加しました。

第2号被保険者である40歳から64歳までの人口は、横ばいで推移しています。

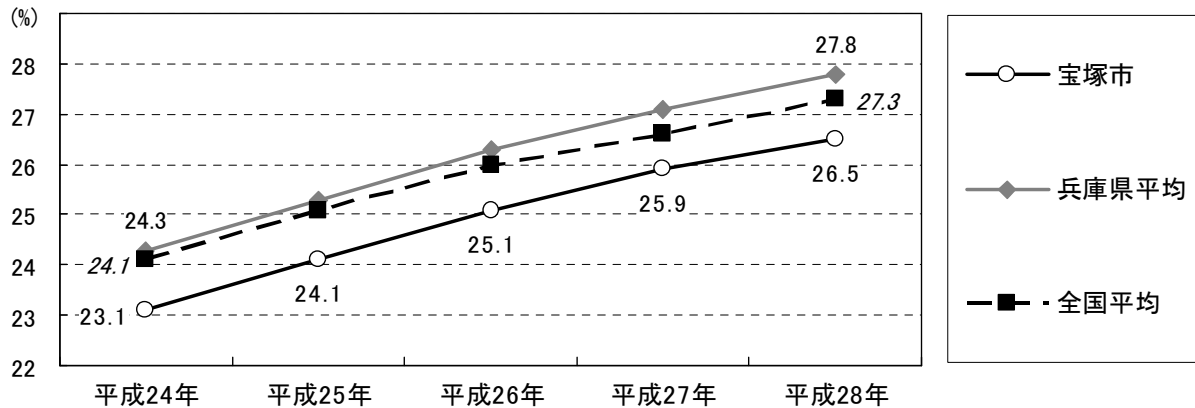
◆年齢区分別人口の動向



資料：住民基本台帳（各年とも9月末現在）

本市は、全国・兵庫県の平均と比べて、総人口に占める65歳以上の人口の割合（高齢化率）が一貫して低い水準にあります。近年、全国・兵庫県の平均との差が徐々に小さくなっています。

◆高齢化率の全国・兵庫県の平均との比較



資料：総務省統計局「人口推計」（各年10月1日現在）、本市は住民基本台帳（各年9月末現在）

イ 高齢者のいる世帯

平成27年国勢調査の結果によると、本市の一般世帯*のうち、65歳以上の人が暮らしている世帯が41.1%を占めています。このうち、ひとり暮らし高齢者世帯が27.7%（全体比11.4%）、高齢夫婦のみ世帯が37.2%（全体比15.3%）を占めています。

◆高齢者世帯の状況

	世帯数			構成比	
	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	単独世帯	夫婦のみの世帯
一般世帯数	94,056	27,642	22,619	29.4%	24.0%
65歳以上世帯員がいる世帯	38,658	10,726	14,366	27.7%	37.2%
75歳以上世帯員がいる世帯	19,606	6,137	6,524	31.3%	33.3%
85歳以上世帯員がいる世帯	5,563	1,949	1,184	35.0%	21.3%

* 平成27年国勢調査における「一般世帯」とは、①住居と生計を共にする人の集まり、②一戸を構えて住んでいる単身者、③それらの世帯と住居を共にして別に生計を維持している単身者、④会社や官公庁などの寮・寄宿舍等に居住する単身者のいずれかの世帯をいい、長期入所・入院者など「施設等の世帯」に属する世帯は含まれません。

ウ 人口推計

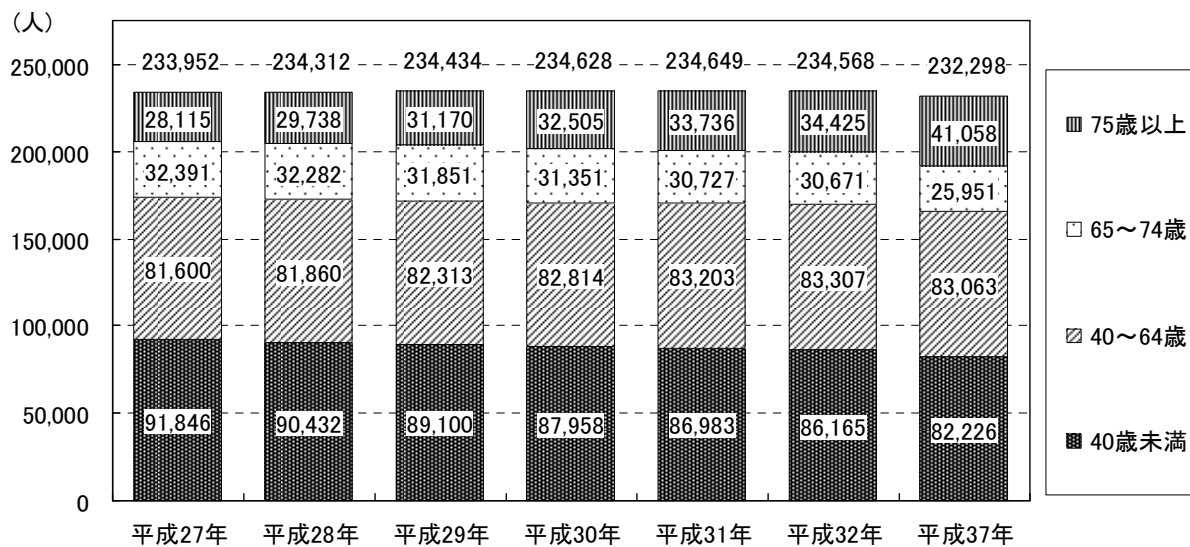
本市の将来の人口推計については、平成27年(2015年)から平成29年(2017年)までの各9月末現在の住民基本台帳人口(外国人を含む)を実績人口とし、日常生活圏域(7ブロック)ごとに、コーホート変化率法*による予測を行い、それぞれの結果を積み上げることにより、本市全体の推計値としました。

この推計値によると、本市の総人口は、平成29年(2017年)9月末現在の234,434人から、今後、緩やかに増加し、平成31年度(2019年度)にピークを迎えますが、その後、減少に転じ、計画期間最終年度の平成32年度(2020年度)で、234,568人、いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者となる平成37年度(2025年度)で、232,298人と推計されます。

第1号被保険者である65歳以上人口は、平成29年(2017年)9月末現在の63,021人から、今後、増加の一途をたどり、平成32年度(2020年度)で65,096人、平成37年度(2025年度)で67,009人と推計されます。

また、高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合)は、平成29年(2017年)9月末現在の26.9%から、平成32年度(2020年度)で27.8%、平成37年度(2025年度)で28.8%に上昇するものと推計されます。

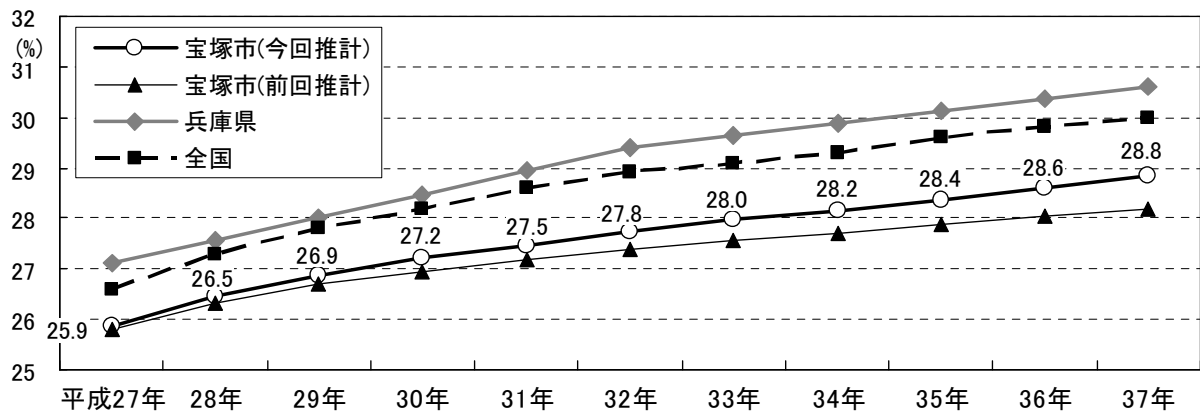
◆年齢区分別人口の実績と推計



資料：住民基本台帳(9月末現在)、本市推計(平成30年以降)

* コーホート変化率法：各コーホート(同じ年又は同じ期間に生まれた人々の集団)について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法をいう。

◆高齢化率の全国・兵庫県の平均との比較



資料：住民基本台帳（9月末現在）、本市推計（平成30年以降）、地域政策統計研究会（兵庫県、神戸大学）「小地域将来推計人口（簡易推計）」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生中位（死亡中位）推計

◆年齢区分別の人口推計結果（全市）

（単位：人）

年 齢	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成37年
40歳未満	91,846	90,432	89,100	87,958	86,983	86,165	82,226
40～64歳	81,600	81,860	82,313	82,814	83,203	83,307	83,063
65～69歳	17,844	18,423	17,247	15,889	14,470	13,690	12,905
70～74歳	14,547	13,859	14,604	15,462	16,257	16,981	13,046
75～79歳	11,570	12,095	12,648	13,127	13,683	13,503	15,797
80～84歳	8,496	8,997	9,358	9,673	9,896	10,162	11,851
85～89歳	5,095	5,398	5,723	6,000	6,223	6,594	7,877
90歳以上	2,954	3,248	3,441	3,705	3,934	4,166	5,533
第2号被保険者(再掲)	81,600	81,860	82,313	82,814	83,203	83,307	83,063
40歳以上合計(再掲)	142,106	143,880	145,334	146,670	147,666	148,403	150,072
推計総人口	233,952	234,312	234,434	234,628	234,649	234,568	232,298
65歳以上人口	60,506	62,020	63,021	63,856	64,463	65,096	67,009
高齢化率	25.9%	26.5%	26.9%	27.2%	27.5%	27.8%	28.8%
75歳以上人口	28,115	29,738	31,170	32,505	33,736	34,425	41,058
後期高齢化率	12.0%	12.7%	13.3%	13.9%	14.4%	14.7%	17.7%
後期高齢者割合	46.5%	47.9%	49.5%	50.9%	52.3%	52.9%	61.3%

資料：住民基本台帳（9月末現在）、本市推計（平成30年以降）

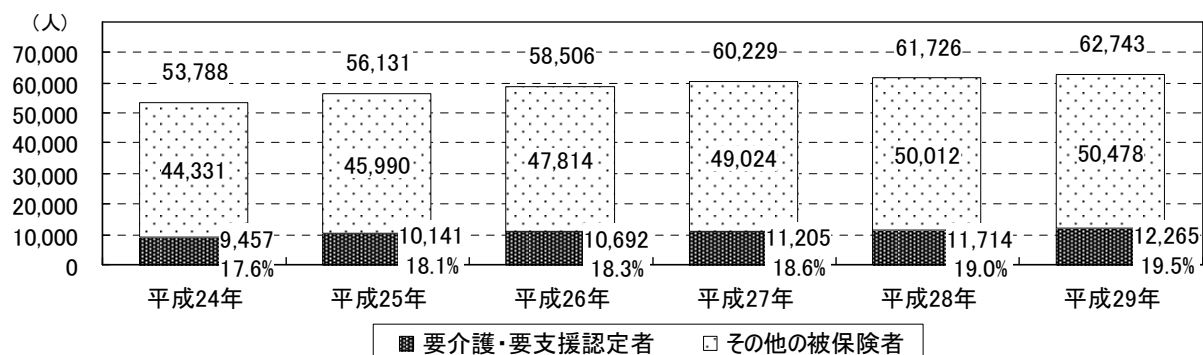
(2) 被保険者数・認定者数の現状と推計

ア 第1号被保険者数及び要介護・要支援認定者数の推移

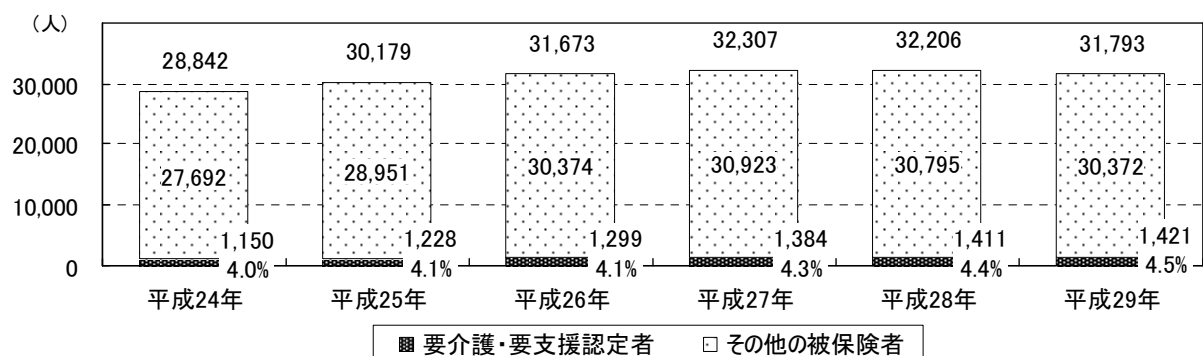
本市の介護保険被保険者数については、平成29年(2017年)9月末現在、62,743人であり、平成24年(2012年)9月末と比べて、8,955人、16.6%の増加となっています。

また、本市の要介護・要支援認定者数については、平成29年(2017年)9月末現在、12,470人であり、第1号被保険者が12,265人、第2号被保険者が205人となっています。このうち、第1号被保険者の認定者数は、平成24年(2012年)9月末と比べて、2,808人、29.7%の増加となっています。

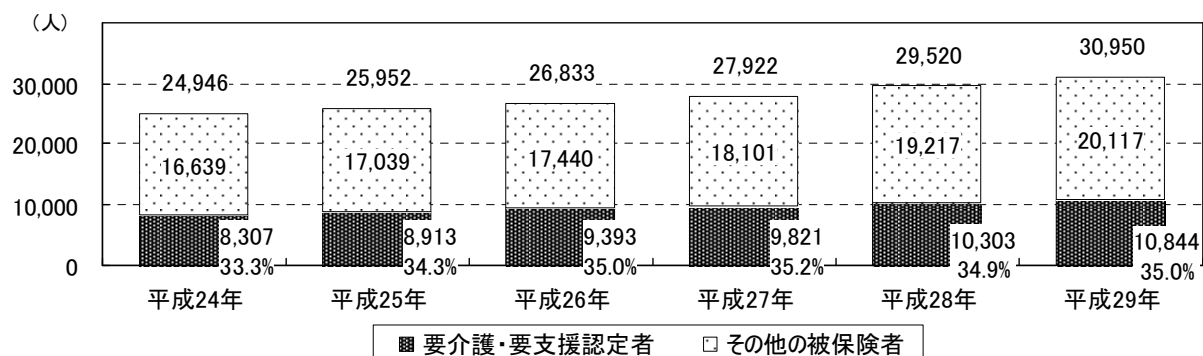
◆第1号被保険者数及び要介護・要支援認定者数(第1号被保険者)の推移



〔前期高齢者(65歳～74歳)〕



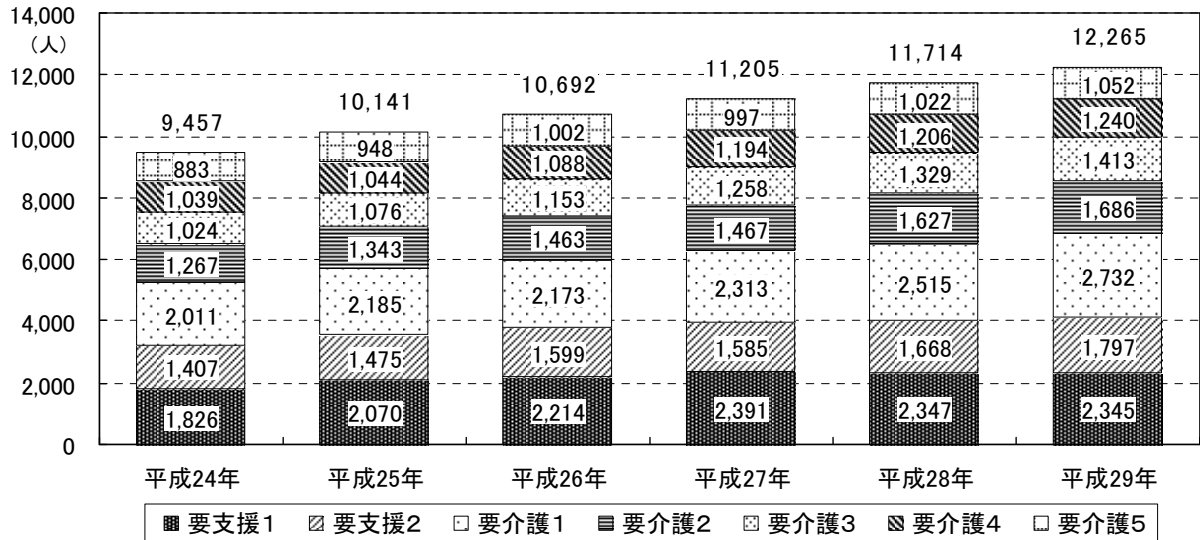
〔後期高齢者(75歳以上)〕



資料：介護保険事業状況報告(各年9月末現在)

認定者数の推移については、平成24年(2012年)から平成29年(2017年)にかけて、すべての介護度で認定者数が増加しており、特に、要支援1から要介護1までの軽度の認定者数の伸びが顕著となっています。

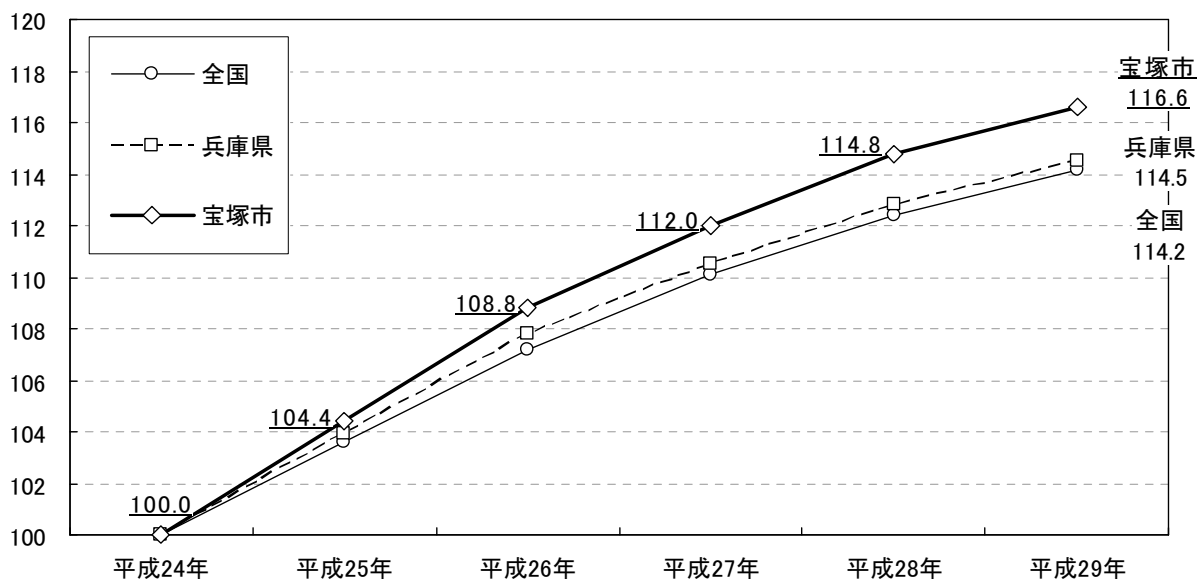
◆介護度別要介護・要支援認定者数（第1号被保険者）の推移



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末現在）

第1号被保険者数と要介護・要支援認定者数の伸び率については、本市は、平成24年(2012年)を基準とする全国・兵庫県の平均と比べて、高い水準にあり、急速に被保険者数・認定者数が増加しています。

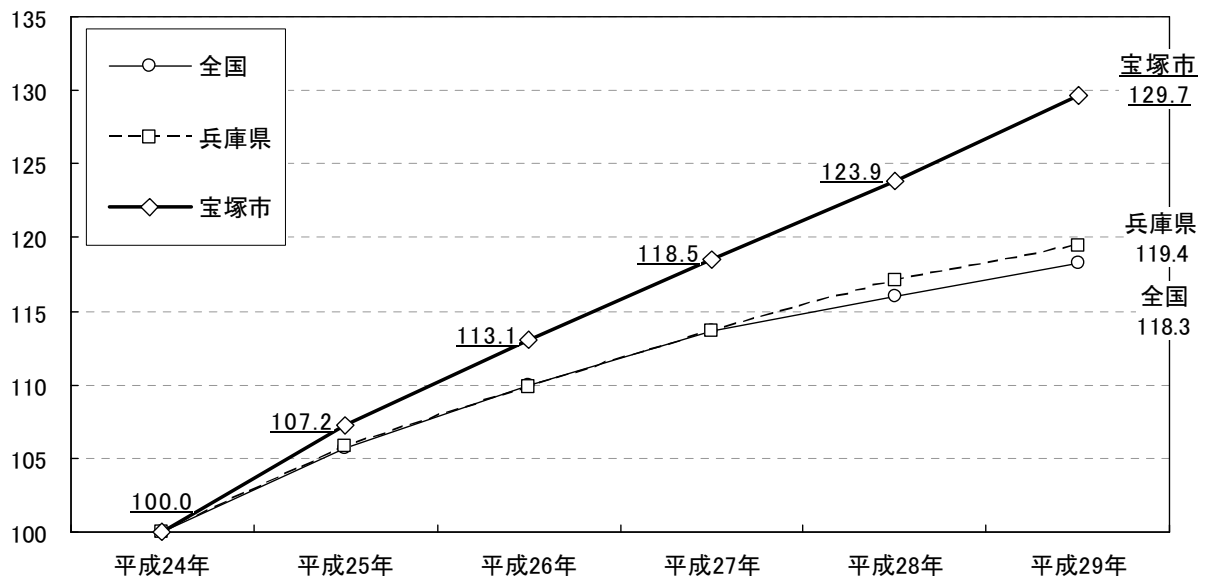
◆第1号被保険者数の伸び率の全国・兵庫県の平均との比較（平成24年(2012年)=100）



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末現在）

◆要介護・要支援認定者数の伸び率の全国・兵庫県の平均との比較（平成24年(2012年)=100）

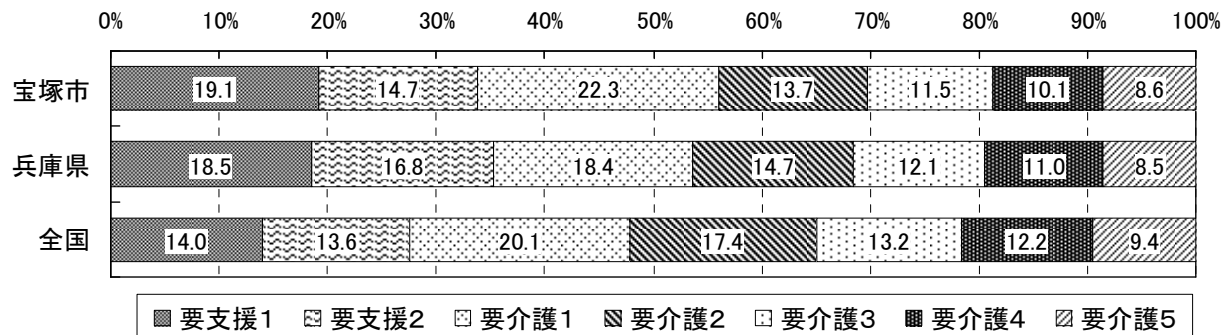
〔第1号被保険者〕



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末現在）

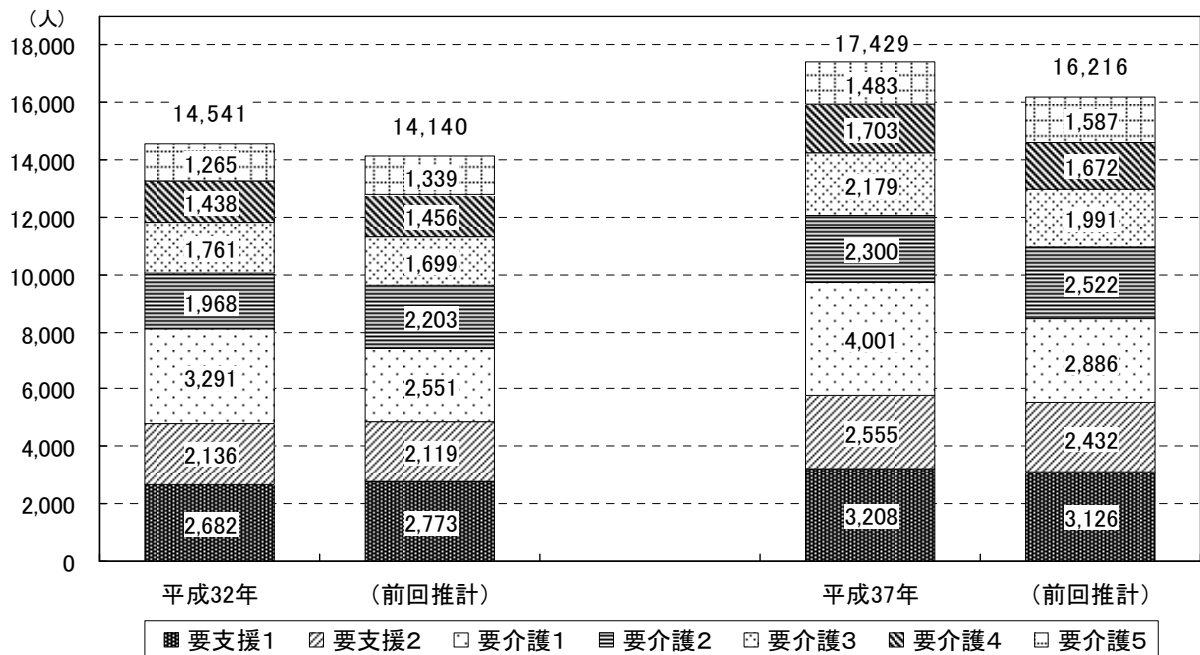
第1号被保険者の要介護・要支援認定者の割合については、本市は、要支援1から要介護1までの軽度者の割合が高く、平成29年(2017年)9月末現在で56.1%となっており、兵庫県平均の53.7%、全国平均の47.7%を上回っています。

◆介護度別構成比の全国・兵庫県の平均との比較（平成29年(2017年)）



資料：介護保険事業状況報告（平成29年9月末現在、第1号被保険者）

◆第6期計画における推計値との比較



イ 要介護・要支援認定者数の推計

要介護・要支援認定者数については、その実績値と人口推計の結果等に基づき、平成30年度(2018年度)以降の推計を行いました。

その結果、要介護・要支援認定者数は、平成29年度(2017年度)9月末で12,470人となっていますが、今後も増加傾向が続き、本計画最終年度の平成32年度(2020年度)で14,541人、平成37年度(2025年度)で17,429人に増加すると推計されます。

◆要介護度別の要介護・要支援認定者数の推計結果(人)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成37年
第1号被保険者	11,205	11,714	12,265	12,887	13,557	14,302	17,179
要支援1	2,391	2,347	2,345	2,438	2,541	2,638	3,161
要支援2	1,585	1,668	1,797	1,915	2,021	2,126	2,546
要介護1	2,313	2,515	2,732	2,883	3,048	3,244	3,949
要介護2	1,467	1,627	1,686	1,761	1,837	1,937	2,270
要介護3	1,258	1,329	1,413	1,512	1,616	1,728	2,144
要介護4	1,194	1,206	1,240	1,283	1,343	1,416	1,681
要介護5	997	1,022	1,052	1,095	1,151	1,213	1,428
第2号被保険者	204	219	205	209	224	239	250
総数	11,409	11,933	12,470	13,096	13,781	14,541	17,429